

## 平成28年度 復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業 生徒課題研究発表会

平成29年2月10日（金）、今年度の『復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業』における活動の成果を発表する生徒課題研究発表会が開催され、1学年全生徒および2学年GL部生徒が参加しました。来賓および保護者の皆様に加え、生徒がフィールドワーク等でお世話になった方々にもご参観いただきました。

### 【前半】1学年の今年度の取り組み

今年度の活動報告	ブリティッシュヒルズ研修について
	後期ゼミについて
	県立博物館との連携事業について（震災遺産学習会、被災地フィールドワーク）
代表生徒による 発表	アメリカ研修ゼミ「会津から考える、ふくしまの復興と未来」
	医療・福祉ゼミ「地域に生かす『笑い』の効果」
	伝統・町並みゼミ「伝統工芸を通して『すきま』をうめる」



今年度の活動報告では、「自ら気付き、考え、行動できる会津高生」をテーマに、通常の授業とは違った環境で主体的に取り組んできた様子が報告されました。

アメリカ研修ゼミの生徒の発表は、復興に向かう福島の本物の姿を海外に発信したいという熱意に溢れたものでした。また、医療・福祉ゼミ、伝統・町並みゼミの生徒の発表はいずれも、自ら地域の課題を見出し、フィールドワークや資料研究を通して自分なりの解決策を提案するものでした。

### 【後半】2学年GL部による「私の論文」紹介

今年度の活動報告	
論文紹介	豊かな高齢化社会を築く
	伝統工芸を次世代に残そう
	「おかえり」と言うために私たちに何ができるか
	自分の見方を変えよう
	フクシマの想いを未来につなげて
	オリンピックで福島への誤解を払拭！
	公平な社会を目指して
	貧困下における子供の食
	世界に教育を届けるために



今年度2学年生徒を対象に創設されたグローバルリーダー部（GL部）は、昨年度に引き続き行われた研修のほか、台湾研修や、会津大学の先生方による英語での講義、会津大学授業への参加など、様々な活動を行ってきました。

論文の作成には、教育連携協定を結んでいる東北大学の先生からご指導いただいたり、台湾研修で訪問した大学、高校や会津大学で発表したりしました。それらの経験やいただいたアドバイスを踏まえて、落ち着いて発表することができました。

### 【講評】

生徒の発表終了後、本事業運営委員である福島大学人間発達学類文化探求専攻の初澤敏生教授と、東北大学高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンターの富田真紀准教授より講評をいただきました。

初澤先生は、自ら課題を設定して解決方法を探求する活動は、答えのある受験勉強よりはるかに難しいものだが、失敗を含めたその過程は、自身を成長させる貴重な経験であると仰いました。その上で、今日の発表は生徒達がどういう会津をつくっていきたいか、という心意気を感じるものであったと評価していただきました。

東北大学でグローバルリーダー育成プロジェクトに携わっておられる富田先生からは、グローバルリーダーに求められる語学コミュニケーション力・国際教養力・行動力についてお話いただきました。そして、本校生徒の課題研究は、グローバルに考えてローカルに行動する「グローカル」を実践するものであり、未来を担うリーダーとしての今後の活動を期待すると激励していただきました。